

## 発電所ホームページにおける原子炉内の燃料健全性データの公開について

平成 21 年 12 月 2 日

当社は、浜岡原子力発電所に係る情報公開の一環として、発電所の運転状況を示す電気出力などのデータを当社ホームページのリアルタイムデータ画面上で公開しています。

今回、他電力で発生した燃料の不具合事象(※1)に鑑み、当社としても、原子炉内の燃料健全性を示すデータを公開することが重要であると考え、原子炉水中のヨウ素131(※2)濃度および排ガス放射線モニタ(※3)の指示値についてリアルタイムデータ画面上に追加することとしました。

このたび準備が整い、本日より公開を始めましたのでお知らせします。

公開画面:<http://www.chuden.co.jp/hamaokastate1/NenryoKenzen.html>

今後とも、積極的な情報公開に努めてまいります。

- ※1 他電力で発生した燃料の不具合事象とは、平成 21 年 7 月 23 日、東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所で、運転中の 7 号機において燃料棒からごく微量に放射能が漏えいした事象です。
- ※2 原子炉水中のヨウ素131は、燃料被覆管に不具合が発生した場合、燃料棒から微量に原子炉水の中へ漏れ出てきます。このため、原子炉水中のヨウ素131の濃度を測定することで、この状態を早期に検知することができます。
- ※3 原子炉の水は、原子炉の運転により蒸気となり、タービンで仕事をした後、復水器で水に戻ります。水に戻らない排ガスは、復水器から空気抽出器で取り出し、気体廃棄物処理系で処理します。排ガス放射線モニタとは、気体廃棄物処理系において排ガスの放射線を連続的に監視しているモニタです。燃料被覆管に不具合が発生した場合、被覆管内に閉じこめられている気体状の放射性物質が原子炉内の水中へ漏れ出てきます。このため、排ガス放射線モニタの指示値を監視することにより、この状態を早期に検知することができます。

以 上